

2022年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
37102	レクリエーション実技 Practical Skills of Recreation	秦真人		専門	1	選択	1.2前期
科目の概要							
レクリエーション・インストラクターの資格取得に必要な、レクリエーションに関する基礎技能の修得を目指す。各レクリエーション種目とくに生涯スポーツ系のレクリエーションの支援演習を行う。また現代社会において、健康で豊かな生活を送っていくための一手段としてスポーツとともにレクリエーションは重要な役割を担っていることを理解する。そして、その中で建学の精神と社会人基礎力、pisa型学力の修得をめざしていく。							
学修内容				到達目標			
① 生涯を通じて日常的な生活においてもレクリエーションが習慣化される。 ② レクリエーションを通して、集団におけるコミュニケーション能力を高め、社会性を身につける。 ③ 基本的なレクリエーション技能を身につけ、基礎的な指導ができるようにする。 ④ ルールや運営方法などを身につける。 ⑤ 様々なレクリエーション種目の紹介と実践により、レクリエーションに対する理解を深める。				① 日常生活の中でレクリエーション活動が習慣化できる。 ② レクリエーション活動を通して社会性を身につけることができる。 ③ レクリエーション活動の基礎的指導ができる。 ④ ルールや運営方法などを理解し、運営能力を身につけることができる。 ⑤ 全体を通じてレクリエーションに対する理解を深め、レクリエーション実践の意識を高めることができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	自分のやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組む。					
	働きかけ力						
	実行力	積極的に行動し、自分の考えを実行に移し、成果をだす。					
考え抜く力	課題発見力	自分のスキルを分析し、課題を見つけて対処する。					
	計画力						
	創造力	アイデアを出し、新たなレクリエーション種目を創り出する。					
チームで働く力	発信力	レクリエーションの中で相手の意見を理解し、自分の考えを発信する。					
	傾聴力	レクリエーションの中で、相手の意見を正確に理解し、チームで協力して実践する。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻・無断欠席など、学修意欲の欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：なし。必要に応じて、各授業時間にプリントを配布。							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：「レクリエーション論」、「レクリエーション実習」、「生涯スポーツ」、「アウトドア演習」 資格との関連：レクリエーションインストラクター、(スポーツインストラクター)							
学修上の助言				受講生とのルール			
難しい用語を暗記する授業ではない。物事の原理原則を皆さんの人生、日常生活やスポーツ活動の中で、どう役立てていくかについて学んで欲しい。				<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業を受けるときにふさわしい服装、身だしなみであること。 ・ 日頃から運動に親しみ、戸外で活動することを心がけましょう。 ・ 携帯電話は必要ないので持ち込まない。 ・ 授業態度の悪い学生は退席してもらう。 ・ 遅刻、欠席をしないこと、必ず連絡・報告する。 ・ 出席が必要回数に満たない場合は無資格となる。 			

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	0	①				
			②				
			③				
			④				
			⑤				
	平常評価	小テスト	0	①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
		レポート	20	①		✓	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の課題に対して、レクリエーション活動を理解して実践してきたかどうかをレポート記録から評価する。 ・知識と技術の獲得とそれを活用し、グループワークでの課題を解決できたかどうかのpisa型学力も評価する。
				②			
				③			
				④		✓	
				⑤		✓	
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	70	①			<ul style="list-style-type: none"> ・学修内容について、しっかりと実践されているかどうか実技の状況を見て評価する。 ・必要なスキルをある程度習得し、実践ゲームに活かしているかどうかを評価する。
				②		✓	
				③		✓	
				④		✓	
				⑤		✓	
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・学修態度（10%） （主体性）自分のやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組むことができる。 （実行力）積極的に行動し、自分の考えを実行に移し、成果を出すことができる。 （課題発見力）自分のスキルを分析し、課題を見つけて対処できる。 （創造力）アイデアをだし、レクリエーションの種目を考え実践できる。 （発信力）相手の意見を理解し、自分の考えを発信できる。 （傾聴力）相手の意見を正確に理解し、グループで協力して実践できる。 （規律性）遅刻・無断欠席など学習意欲の欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。 		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>授業で学んだ様々なレクリエーションの知識を体系的に理解し、自分に合った練習方法を見つけて実践し、将来的に習慣化されると思われる場合A(優)。</p> <p>さらに、将来的に効果的に実践させることができ、特に指導的立場にいたると思われたらS(秀)となる。</p>	<p>授業で学んだ様々なレクリエーションの知識を理解し、それを活かした実践ができると共に技能の向上が図れた場合B(良)。</p> <p>授業に参加し、個人技能の向上が図れなくても、主体的に行動することができればC(可)である。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	レクリエーションへの導入とワーク	教員からの説明の後、実技を実施	種目の概説とアイスブレーキングの実践により、レクリエーションを理解することができる。	(予習) レクリエーションとはどのようなものかシラバスで確認する。 (復習) アイスブレーキング実践を確認し振り返る。	60	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
2	チャレンジ・ザ・ゲーム①スティックやボール、なわ等を使った種目を実践	教員からの説明の後、グループワークでアクティブ・ラーニング(復習内容の質問に対し口答でフィードバック)	各種目のルールを理解し、技術を主体的に修得することができる。	(予習) チャレンジ・ザ・ゲームについて調べる。 (復習) 実践結果を確認し振り返る。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	チャレンジ・ザ・ゲーム②リングやボール、ゴム、竹等を使った種目の実践	教員からの説明の後、グループワークでアクティブ・ラーニング(復習内容の質問に対し口答でフィードバック)	各種目のルールを理解し、技術を主体的に修得することができる。	(予習) チャレンジ・ザ・ゲームについて調べる。 (復習) 実践結果を確認し振り返る。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	フライング・ディスク①基本投法と基本キャッチに挑戦	教員からの説明の後、グループワークでアクティブ・ラーニング(復習内容の質問に対し口答でフィードバック)	各種目のルールを理解し、技術を主体的に修得することができる。	(予習) フライング・ディスクについて予習する。 (復習) 実践結果を確認し振り返る。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	フライング・ディスク②ディスク・ゴルフに挑戦	教員からの説明の後、グループワークでアクティブ・ラーニング(復習内容の質問に対し口答でフィードバック)	ディスク・ゴルフのコースラウンドにチャレンジし記録することができる。	(予習) ディスク・ゴルフについて調べる。 (復習) 実践結果を確認し振り返る。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	フライング・ディスク③アルティメットに挑戦	教員からの説明の後、グループワークでアクティブ・ラーニング(復習内容の質問に対し口答でフィードバック)	集団ゲーム、アルティメットにチャレンジすることによって積極的に理解できる。	(予習) アルティメットについて調べる。 (復習) 実践結果を確認し振り返る。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	ソフトバレーボールの実践に挑戦	教員からの説明の後、グループワークでアクティブ・ラーニング(復習内容の質問に対し口答でフィードバック)	ソフトバレーボールのルールを理解し、ゲームが円滑にできる。	(予習) ソフトバレーボールについて調べる。 (復習) 実践結果を確認し振り返る。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	インディアカの実践に挑戦	教員からの説明の後、グループワークでアクティブ・ラーニング(復習内容の質問に対し口答でフィードバック)	インディアカのルールを理解し、ゲームが円滑にできる。	(予習) インディアカについて調べる。 (復習) 実践結果を確認し振り返る。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	キンボールの実践に挑戦	教員からの説明の後、グループワークでアクティブ・ラーニング(復習内容の質問に対し口答でフィードバック)	キンボールのルールを理解し、ゲームが円滑にできる。	(予習) キンボールについて調べる。 (復習) 実践結果を確認し振り返る。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	グラウンド・ゴルフの実践に挑戦	教員からの説明の後、グループワークでアクティブ・ラーニング(復習内容の質問に対し口答でフィードバック)	グラウンド・ゴルフのラウンドにチャレンジし記録することができる。	(予習) グラウンド・ゴルフについて調べる。 (復習) 実践結果を確認し振り返る。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	ゲートボールの実践に挑戦	教員からの説明の後、グループワークでアクティブ・ラーニング(復習内容の質問に対し口答でフィードバック)	ゲートボールゲームにチャレンジし記録することができる。	(予習) ゲートボールについて調べる。 (復習) 実践結果を確認し振り返る。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	ターゲット・バードゴルフの実践に挑戦	教員からの説明の後、グループワークでアクティブ・ラーニング(復習内容の質問に対し口答でフィードバック)	ターゲット・バードゴルフのラウンドにチャレンジし記録することができる。	(予習) ターゲット・バードゴルフについて調べる。 (復習) 実践結果を確認し振り返る。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	ターゲット型レクリエーション種目の技術習得に挑戦	教員からの説明の後、グループワークでアクティブ・ラーニング(復習内容の質問に対し口答でフィードバック)	クロリティ・フリーブロー・ビーンボウリングのルールを理解し基本技能を修得することができる。	(予習) クロリティ・フリーブロー・ビーンボウリングについて調べる。 (復習) 実践結果を確認し振り返る。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	ベースボール型レクリエーション種目の実践に挑戦	教員からの説明の後、グループワークでアクティブ・ラーニング(復習内容の質問に対し口答でフィードバック) 理解確認・フィードバック	クリケット・ランウンダースのルールを理解しキックベースボールのゲームが円滑できる。	(予習) ベースボール型レクリエーションについて調べる。 (復習) 実践結果を確認し振り返る。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	まとめのレクリエーションの実践 前週までに獲得した知識や技術によりレクリエーション課題を解決するというpisa型学力も意識する。	実技を伴うテストを実施(復習内容の質問に対し口答でフィードバック) 理解確認・フィードバック	まとめの小テストにより、各レクリエーション種目の内容を確認し理解できる。	(予習) テスト内容について予習する。 (復習) 各種レクリエーションの名称について確認する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力